

# 加飾技術研究会

## Letter No.11 (2012.10.1)

事務局 平野技術士事務所 105-0003 東京都港区西新橋二丁目8番1号 ワカサビル  
創造工学研究所内 ☎/FAX 03-3504-2600 e-mail info@ce-hirano.com

製品類、部品類などの最終加工は加飾処理である。工業製品を「商品」として価値あるものに仕上げるのは、加飾技術である。近年、環境に優しく、あらゆる負荷が小さい加飾技術が求められている。我々は、社会の要請に対して真摯に取り組み、優れた加飾技術について調査・研究・開発等を積極的に進め、社会・経済発展に寄与すべく加飾技術研究会の活動を展開するものである。

### 加飾技術研究会は異業種交流会

(会長 秋元英郎・秋元技術士事務所)

去る8月28日に第8回研究会を開催し、多くの方に参加していただきました。

ここで強く感じたのは、加飾技術は異業種交流ということです。

加飾にかかわるバリューチェーンにおいて、素材(加飾される素材と加飾に用いる素材)、装置が関係しますし、デザインも関係します。基礎学問としても感性工学やマーケティング理論も関係してきます。

加飾技術研究会は少しずつですが、異業種交流会の様相を見せてきました。うれしいことです。

第8回研究会の冒頭で、加飾技術において完全自前主義はありえないという話をしました。

プラスチック成形加工学会年次大会の基調講演では、LG電子のミンさんが開発の初期段階や、技術ストックの段階で外部の技術を取り込む(オープンイノベーション)ことで、引き出しの自身を増やし、開発を加速させているという話がありました。

加飾技術研究会での出会いがヒントになって何か新しいモノ・コトが生み出されるのであれば、大変うれしいことです。

### 第8回加飾技術研究会 報告

(代表理事 平野輝美・平野技術士事務所)

加飾技術研究会では、定期的に研究会を開催しております。主に、各種団体との連携の元に開催しております研究会と、会員相互の議論や情報交換を目的とした会員向けの研究会に分けられます。

盛夏8月28日に、会員向けの第8回加飾技術研究会が開催されました。図に案内を紹介します。プログラムとして、弊会会長の秋元より、加飾技術の現状に関する情報提供を頂きました。今回は、企業からお二人のご講演を頂きました。

シボ加工による加飾技術 棚澤八光社 瀬川 様  
インクジェット塗装技術 タクボエンジニアリング 上村様

それぞれ簡単にご紹介いたします。

#### ▶シボ加工による加飾技術

棚澤八光社 瀬川様にご講演頂きました。最近、広い範囲に活用されているシボ加工に関する現状と、棚澤八光社の展開についてご紹介いただきました。特に興味深かったのは、シ

ボによって実現される付加的な機能の点です。シボ加工によって、本当に様々な機能を実現していました。それぞれについて、事例を使ってご説明頂きました。

このような新規加工技術は、加飾のトレンドとして大きな応用展開の可能性のあるものと思います。

#### ▶インクジェット塗装技術

タクボエンジニアリング 上村様にご講演頂きました。インクジェット技術は従来から大きな興味を持たれる技術であったと思



### 加飾技術研究会のサイトご紹介

サイトを公開しております。

<http://www.ce-hirano.com/KASHOKU/TOP.html>

加飾技術研究会  
第8回 研究会

大量生産・大量消費の時代は終焉を迎え、人の感性に訴えるものづくりやデザインが求められている。消費者意識では高級感やデザインは定量化できないものである。加飾技術研究会では、会員の皆様とともに、人の感性に訴えかける製品開発、そして、ビジネスに落とし込む方法を模索していきます。

主催：加飾技術研究会

開催日：2012年8月28日（火）、受付開始：13時00分～

時間：13:30時～16:40時、（情報交換会）17時00分～

場所：東京都港区生涯教育センターばるーん203学習室（新橋駅）

## プログラム

13:30～13:35	ごあいさつ	
13:35～14:30	加飾技術のトレンド解析	加飾技術研究会会長 秋元英郎
	1) 市場の要望/展覧	
	2) 産業財産権の状況	
	3) 将来動向	
14:30～15:30	トピックス (1)	
	シボ加工による加飾技術 (仮) 柳澤八光社 渡邊様	
15:30～15:40	休憩	
15:40～16:40	トピックス (2)	
	インクジェット塗装技術 タクボエンジニアリング 上村様	
16:40～	まとめ	
17:00～20:00	討論会/情報交換会	

まず、モバイル関連のトレンドなどからも、大きな需要が指摘されてきたと思います。しかし、塗装のような分野では、その処理速度の観点から課題として指摘されてきました。タクボエンジニアリングでは、設備から開発して、塗装処理の可能性を切り開いた経過をご紹介いただきました。開発の要件など、そして実際に構築する過程などをご紹介いただきました。

ご講演を頂きました、上村様の加飾に関するご意見を含めて、意義の大きなお話でありました。

写真に研究会の様子を紹介します。

## ▶情報交流会

ご参加頂いた方々から、有志の皆様にて交流会を開催しました。皆様のお持ちの現場情報などを交換し、お互いの強みを活用して製品開発や、顧客開発を進めるための連携構築を行いました。

加飾技術研究会では、会員相互の連携を進めるべく活動してまいります。ぜひ皆様、ご参画ください。

加飾技術研究会報告2012  
価値創造 加飾のトレンド

(加飾技術研究会)

近年、たくさんの企業や事業者や行政など、多くの主体が加飾を注目しています。その大きな理由の一つとして、あらゆる製品において急速なコモデティ化が進行し、従来の観点であった『機能』などによる差別化戦略が働きにくくなっていることが挙げられるでしょう。日本製品、全てにおいて急速にコモデティ化が進展しているものと思います。

コモデティ化した状況で、差別化をすすめる軸の一つとして、『加飾』を再設定することが試みられています。コモデティ化した中で、何らかの差別化を行うことによって、収益性を改善することが期待されているのです。

弊会では、製品戦略から商品戦略を考察し、需要と供給・デマンドとサプライの観点を整理して、加飾を評価軸として捉え直しています。『加飾』の観点から、差別化戦略を構築して、付加価値の創造を提案しています。

多くの製造業では、ビジネス戦略・マーケティング戦略としてのコストダウンと、市場競争から求められるプライスダウンを混同しているのではないのでしょうか。コストダウンによる競争力強化は、全ての企業にとって常に努力する課題でしょう。コストダウンによって、強い事業を育て、大きな収益性を確保する道が開か

れるでしょう。しかし、そのコストダウンは、ビジネス構造の創造によるもの、すなわち、イノベーションによるものであることが求められるでしょう。従来と同じ構造でプライスダウンの競争を行うことは、企業にとって避けるべき選択になります。なぜなら、構造変換を伴わないプライスダウンは、収益を失うことに直結する厳しい選択になるのです。

加飾技術研究会では、『加飾』をキーワードとして、イノベーションによるコストダウンを考えます。

“加飾技術研究会報告2012 価値創造 加飾のトレンド”をご希望の方は、弊会までご請求ください。（代表理事 平野輝美・平野技術士事務所）

加飾技術研究会報告 2012  
価値創造 加飾のトレンド

加飾技術研究会

事務局 〒105-0003 東京都港区西新橋一丁目8番1号ツバサビル4F  
TEL: 03-3504-2800 FAX: 03-3504-2800

加飾技術研究会

秋元英郎、平野輝美 著

研究会社出版部発行 出版プロジェク

加飾技術研究会のサイトご紹介  
サイトを公開しております。

<http://www.ce-hirano.com/KASHOKU/TOP.html>

## ▶中小企業総合展2012 のご紹介

中小企業総合展2012に、弊社会員が出展します。招待状を事務局にて管理しておりますので、ご要望をお持ちの会員は、事務局に照会ください。無料招待券、VIP招待券(飲み物付き)などを頂いております。ぜひ、ご活用ください。

## ▶第9回加飾技術研究会のご案内

来る12月6日(木曜日)(予定)に、第9回研究会を開催いたします。立体加飾にかかわる企業の方をお招きして、お話を頂く予定です。ぜひ、ご参加ください。

▶開催日時 2012年12月6日(木曜日)、13時30分～

▶開催場所 港区生涯学習センター ぱるーん (新橋駅前)

### ▶プログラム

13時30分～13時35分 ご挨拶 会長 秋元英郎

13時35分～14時00分 加飾のトレンド 代表理事 平野輝美

14時00分～14時35分 自社製品紹介 アスカルデザインプロダクツ

14時35分～15時10分 自社製品紹介 講演者未定

15時10分～15時20分 休憩

代表理事 平野輝美 15時20分～16時20分 『高耐久性パウダーコーティング・鍍盾』カドワキカラーワークス

16時20分～16時55分 質疑

17時30分～20時00分 情報交流会

### ▶参加申込等

詳細は、弊社事務局までご連絡ください。

申込 e-mail アドレス info@ce-hirano.com もしくはFAX 03-3504-2600まで、以下の情報をお送りください。

お名前、ご所属、連絡先、会員種別(入会ご希望の方は、その旨お書きください)

## ▶第10回加飾技術研究会

2013年2月頃に第10回加飾技術研究会を予定しております。皆様、ご参加の程よろしくお願いたします。

## ▶第11回加飾技術研究会／第5回定時総会

2013年6月頃に第11回加飾技術研究会／第4期総会を予定しております。皆様、ご参加の程よろしくお願いたします。

## ▶第15回 産業交流展2012 出展のご案内

加飾技術研究会事務局

毎年、継続的にビッグサイトにて大々的に開催されております産業交流展2012につきまして、加飾技術研究会としてブースを確保いたしました。

産業交流展は、東京都が主催する、中小企業向けのとても大きな展示会です。多数の来場者を確保する活発な活動として継続的に開催されています。2011年の開催実績を参照ください。約5万人以上の来場者数(実績)を得ております。会場が東京ビッグサイトであり、絶好の立地です。開催される、たくさんの中小企業が参加します。

加飾技術研究会の会員の皆様には、確保いたしましたブースにて、皆様連携の元に積極的に参加頂こうと考えております。

会員の皆様、ぜひ、産業交流展と一緒に参加しましょう！

▶参加申込社:加飾技術研究会／株式会社GGK

各参加社は、株式会社GGKと連携をもって参加いただけます。

第15回 中小企業による国内最大級のトレードショー

# 産業交流展2012

出展分野 情報 環境 医療・福祉 機械・金属

11/20(火) 21(水) 22(木) 東京ビッグサイト 東2・3ホール 10:00～17:00 入場無料



### 産業交流展2011開催実績

日付 Date	天気 Weather	来場者数 Visitors	前日実績 来場者数 Last Time Visitors
10月26日(水) October 26, Wed.	晴れ Fine	15,359	17,633
10月27日(木) October 27, Thu.	晴れ Fine	17,171	16,585
10月28日(金) October 28, Fri.	晴れ Fine	19,872	19,367
合計 Total		52,402	53,585

なお、株式会社GGKは、加飾技術研究会事務局の運営にご協力頂いております企業(代表取締役 平野輝美, 取締役 秋元英郎)です。

- ▶共同参加申込:e-mail アドレス info@ce-hirano.com  
もしくはFAX 03-3504-2600まで、共同参加の申出をお送りください。参加の申込×切として10月31日とさせていただきます。早めにご連絡のほどお願いいたします。
- ▶参加費分担:5000円/会員企業として、ご参加企業毎に分担頂きます。規模と参加企業数などを勘案すると、とても効率的な展示会と思えます。
- ▶ブースの位置:機械・金属エリア, 33番ブースになります。

- ▶ブースの広さ:約3×3m 程度の広さがあります。皆様譲り合っ  
て使用します。
- ▶出展内容:各社の製品紹介とパンフレットなどを配布することを  
考えております。
- ▶入手情報について:交換した名刺は、共有財産として共有したく  
思います。
- ▶詳細情報:第15回産業交流展サイト  
<http://www.sangyo-koryuten.jp>  
をご参照ください。

## 編集後記 (代表理事 平野輝美)

今年の夏は、非常に暑かったですね。特筆すべき暑さであったと思います。さすがに、夏バテ...でした。さらに、秋バテという症状が多くみられているようです。通常の秋であれば、夏バテを回復して、体力回復...と思いますが、さらに継続的に秋バテとして、体力消耗...となっているようです。

このような継続的な体力消耗は、日本国経済や日本社会に

**加飾技術研究会事務所紹介** :新橋にあります平野技術士事務所内にて活動させて頂いております。ご入会申し込み、質問、その他何でも、メールにてお問い合わせください。e-mail info@ce-hirano.comです。地図を載せます。右端の駅が新橋です。上が東京方向です。近くまでお越しの際はぜひお立ち寄りください(訪問前には電話をご一報ください。090-3694-7864です)。



### 加飾技術研究会

会長:秋元英郎, 事務局:平野輝美  
連絡先:平野技術士事務所  
☎/FAX 03-3504-2600  
所在地:105-0003 東京都港区西新橋二丁目8番1号  
ワカサビル 創造工学研究所内  
平野技術士事務所 代表 平野輝美

も通ずるものであろうかと思いません。もしかすると、真夏と思われる経済環境は、デジャブかもしれません。

サムスの強さはどのようなことでしょうか。一説には、“速さ”であると言われます。日本企業は、“速さ”に対して、ハイテクノロジーで対応するのでしょうか? 一般的には、“速さ”に対抗するには、より“速く”のように思います。日本企業は競争軸を適切に理解しているのでしょうか? 適切な対抗軸を設定しないと、大きなロスを受けてしまうように思うのです。

### ▶加飾は競争軸です!

加飾は、これからの、将来における競争軸と思います。皆様、将来の武器は、十分に手入れしましょう^^:

### 著書紹介

『構造化テクニカルライティングのすゝめ』技術士に限らず、技術者の多くにとって、報告書を作成することは日常的な業務でしょう。

そして、わかりやすく、読みやすく、適切な報告書を作成するための、テクニカルライティングをまとめました。特に、構造化とパラグラフを活用することを提示しております。

皆様、ご活用ください。【秋元、西角井、平野著、有限会社納諾相研究所出版プロジェクト, 2100円(税込み)】



### おくづけ

加飾技術研究会ニュースターVol. 11  
発行年月 2012年10月1日  
発行者 加飾技術研究会 代表理事 平野輝美  
☎090-3694-7864 e-mail info@ce-hirano.com  
年4回発行 季刊 定価250円